

農山漁村の宝

ディスカバー

むらのたから

第七回
選定地区
募集

個人部門
もあります

応募期間

令和2年7月1日(水)～
9月4日(金)



- 応募は「ディスカバー農山漁村の宝」のホームページで受け付けています。
- 応募の詳細、応募方法は以下リンクでもご確認いただけます。

「ディスカバー農山漁村の宝」HP
<https://www.discovermuranotakara.com>



趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成 26 年度（第 1 回選定）から実施し、令和元年度（第 6 回選定）までに 179 の優良事例を選定しております。

選定の対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

応募期間 令和 2 年 7 月 1 日（水） - 9 月 4 日（金）

応募方法 「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ内の応募フォームに必要事項を入力いただき、ダウンロードした応募用紙（Word ファイル）を添付のうえ御応募ください。詳細は「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ (<https://www.discovermuranotakara.com>) をご確認ください。



選定方法 有識者懇談会において、総合的に審査し、優良事例を選定します。

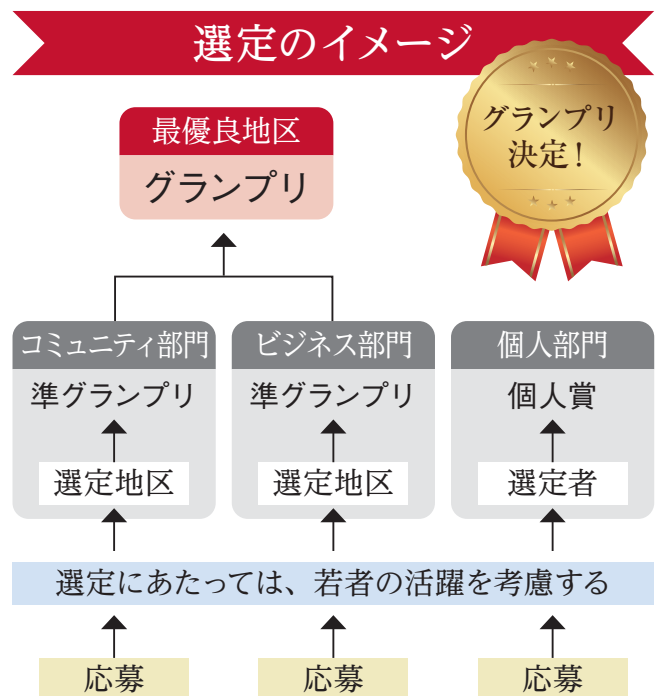
① 団体向け（コミュニティ部門・ビジネス部門）

コミュニティ部門（関係者の連携による活動で地域に活力をもたらす取組等）とビジネス部門（事業化を通じて所得向上や雇用を生み出す取組等）に分けて募集・審査。

計 30 地区程度を選定し、両部門の中から最優良地区を「グランプリ」、グランプリ以外で各部門での優良地区を「準グランプリ（各部門）」として選定し、表彰します。

② 個人向け（個人部門）

個人部門（地域でリーダー的な活躍をしている者等）として、募集・審査。5～10 名程度を選定し、その中から優良者を「個人賞」として選定し、表彰します。



◎ 有識者懇談会委員

選定委員



あん・まくどなるど
上智大学大学院教授
慶応義塾大学特任教授



今村 司
(株) 読売巨人軍
代表取締役社長



織作 峰子
大阪芸術大学教授
写真家



田中 里沙
事業構想大学院大学学長
(株) 宣伝会議取締役



永島 敏行
俳優
(有) 青空市場代表取締役



林 良博
国立科学博物館館長



藤井 大介
(株) 大田原ツーリズム
代表取締役社長
(株) ファーム・アンド・ファーム・カンパニー
代表取締役社長



三國 清三
オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ



向笠 千恵子
フードジャーナリスト
食文化研究者
郷土料理伝承学校校長



横石 知二
(株) いろどり
代表取締役社長

◎ 選定証授与式と交流会

令和元年度の第6回選定では、12月3日に総理大臣官邸にて、選定証の授与式及び交流会を開催。交流会においては、選定地区の代表者は、お互いに交流を深めるとともに、内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等からの激励を受けました。



◎ 選定地区に対する取組

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された地区に対しては、農林水産省ホームページ等で活動を紹介するほか、様々なイベントへの出展支援を通じて、全国的な情報発信を行っています。



東京の有楽町におけるマルシェ（令和元年12月）



アグリフード EXPO 大阪（令和2年2月）



大連ジャパンブランド<中国大連市>（平成30年3月）

「ディスカバー農山漁村の宝」 に選定されたら…

選定されると、マルシェの参加や SNS での情報発信、ウェブサイトにおける選定地区のおすすめ商品の紹介等のメリットがあります。選定地区からは、メディアで紹介される機会が増加し、関係者の意欲向上や売上の増加などにつながったとの声も多数寄せられています

選定後に取材が増加し、独自の基準を設けたブランド米「ささ結」が全国区で知られる機会になりました！銀座の大手デパートでも取り扱っていただいています。酒蔵と連携した「純米大吟醸ささ結」も品切れご免の大人気商品となりました

選定されたことで、協議会の取組の全国的な知名度が高まり、視察や講演の依頼が増加し、若者が集まるきっかけになりました。協議会のHPで紹介し、物品販売や民宿予約のセールス活動に活用しています！

「ディスカバー農山漁村の宝」
アンバサダー
鈴木 至さん

「ディスカバー農山漁村の宝」
アンバサダー
佐伯 絵里子さん



大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム
(宮城県大崎市) (第5回選定地区)



高千穂ムラたび協議会
(宮崎県高千穂町) (第3回選定地区)

お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 活性化推進班
〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1
電話(直通)：03-3502-5948 ファックス：03-3595-6340